

## グリーン・オリエンテリング ヒント1

下の樹木の中に答えがあります。※2回出る樹木があります。同じ種類の樹木もあるので気をつけましょう。

ハナミズキ(花水木)	タケ(竹)
アカマツ(赤松)	コブシ(辛夷)
イチヨウ(銀杏)	タイサンボク(泰山木)
ウメ(梅)	ツゲ(柘植)
ウラジロカシ(榎)	トチノキ(栃)
カキノキ(柿)	ニセアカシア(ハリエンジュ)
キンモクセイ(金木犀)	ヤマボウシ(山帽子)
クリ(栗)	センダン(柃木) 白檀のこと
クヌギ(櫟)	ヒノキ(檜)
ケヤキ(榿)	ドウダンツツジ(満天星躑躅)
ゴヨウマツ(五葉松)	カナメモチ(要藤)
コナラ(小楢)	ヤマフジ(山藤)
サクラ(桜)	モクレン(木蓮)
ヒサカキ	ロウバイ(臘梅)
ヤブツバキ(藪椿)	トウカエデ(唐楓)
サルスベリ(百日紅)	イロハモミジ(いろは紅葉)

## グリーン・オリエンテリング ヒント2

※23 は欠番です。

- 1 建築材として最良。お風呂の材料にもなります。図鑑P.246を参照。
- 2 身近な雑木林に一番多い木。図鑑P.32を参照。
- 3 葉はかたくてややそり、ウラは金色っぽく、マグノリアという学名で香水にもなっている。図鑑P.169を参照。
- 4 「お花見」と言えばこの木。図鑑P.60を参照、それらをまとめて。
- 5 この木の実を「ぎんなん」ともいう。図鑑P.195を参照。
- 6 埼玉県の木です。すらりと広がるおうぎ形の樹形。図鑑P.55を参照。
- 7 4月、5月に紫色、または白色の花を垂れ下げて咲かせます。花の色は昔は最も高貴な色とされた。図鑑P.227を参照。
- 8 葉っぱの形がアヒルの足のような形をしています。街路樹ランク第5位！図鑑P.188を参照。
- 9 春に小さな鈴(ベル)のような白い花が咲きます。図鑑P.40を参照。
- 10 幹がツルツルしていて、木登りしてもおちてしまいそう。「サル〇〇〇」。図鑑P.137を参照。
- 11 春の花といえばコレ！日本の国花であり、100円玉にも描かれています。図鑑P.60を参照。
- 12 盆栽に人気です。葉をひとつまみ引き抜くと5本ずつ束になっています。図鑑P.243を参照。
- 13 葉っぱのさげ目の数を「イロハニホヘト」と数えたからこの名前がついたよ！ 図鑑P.184を参照
- 14 日本でこの木材は、ハンコヤクシ、将棋のコマによく使われる。図鑑P.110を参照。
- 15 漬け物にした実は、おにぎりの中へ。この実を果実酒にするとおいしいよ。図鑑P.63を参照。
- 16 かぐや姫の物語に出きます。
- 17 花はガスのような匂いがするよ。「サカキという木ではない」ことからこの名前がついたとか。図鑑P.87を参照。
- 18 樹液にはカブトムシやクワガタなどが集まります。どんぐりは大きく丸いよ！ 図鑑P.37を参照。
- 19 初夏には長く垂れ下がる白い花をつけます。葉のつけ根に2本のトゲがあるよ！ 図鑑P.229を参照。
- 20 この木の実を使ったケーキはマロンケーキです。図鑑P.36を参照。
- 21 どんぐりがなります。特徴は、葉の裏側がロウをぬったように白いことです。図鑑P.77を参照。
- 22 垣根(かきね)に使うことが多いです。枝を刈るたびに出てくる若葉は赤です。図鑑P.81を参照。
- 24 サルカニ合戦にでできます。秋にはおいしい実をつけます。図鑑P.131を参照。
- 25 切ると松やにがでます。樹皮は赤く、幹の上部でよくはがれる。この木はアカ〇〇といいます。図鑑P.242を4参照。
- 26 歌にもなり、薄紅色や白い花がきれいです。問11でアメリカからのお礼に、この木が送られた。図鑑P.123を参照。
- 27 香りが強く、秋の初めに上品な香りをただよわせます。小さいオレンジ色の花をたくさん咲かせます。図鑑P.92を参照。
- 28 花は秋から春まで咲くが、3月前後がピーク。ヤブ〇〇〇という。図鑑P.84を参照。
- 29 白い花が咲きます。実はゴツゴツして、にぎりこぶしのようです。図鑑P.129を参照。
- 30 実は加工して〇〇もちとして食べられます。7枚が集まって1枚の葉を作る。図鑑P.199を参照。
- 31 実はギン〇〇〇〇も存在する。この木はキン〇〇〇〇。図鑑P.92を参照。
- 32 2~3月頃、サクラより小ぶりな花を咲かせます。サクラやアンズと間違えやすい。図鑑P.63を参照。
- 33 梅雨時に咲く白い花が印象的な木。樹皮はウロコ状にはがれ、ややまだら模様になる。図鑑P.122を参照。
- 34 花は4月に咲き、「白」と「むらさき」があります。〇〇レンという。実はコブシと似ている。図鑑P.128を参照。
- 35 冬に咲く花の代表種。ロウソクでできたような見た目からこの名前がついたと言われる。図鑑P.124を参照。
- 36 秋に黄色い実が1000個の団子のように見えるため、この名前がついたといわれる。図鑑P.218を参照。